

はじめに

この機関誌も第 8 号を数え、岩本ゼミも 9 期生を送り出すことになりました。これで卒業生は 77 名になりました。

9 期生のみなさんへ

まず、卒業する 9 期生のみなさん、卒業おめでとう。君たちは、久しぶりに粒ぞろいのゼミ生たちでした。

ゼミ長の沓脱君は、学力、努力、リーダーシップ等、いずれをとっても、申し分のない AAA でした。京大経済からは久しぶりの日銀マン、将来の活躍を大いに期待しています。

インゼミ幹事の杉さんも、素晴らしいリーダーおよびジャッジを果たしてくれました。少し気分が波があるようだけれども、大学院へ進学してからは、自信を持って研究に専念して下さい。

嵯峨さんは、4 回生になっても欠かさずゼミに参加し、その意味では貢献度ナンバーワンでした。このゼミで発見したはずの自分に誇りを持って、トヨタでがんばって下さい。

ロージーホン君は、同期生や先輩・後輩のみならず、私や TA を含めて、このゼミに最も刺激を与え続けてくれました。このゼミが、君の努力と向上心に十全に応え得るものではなかったかもしれませんが、京大あるいは日本で学び得なかったことは、これから UCL(or イェール大)で大いに研究して下さい。

小畑君は、このゼミ以外でいろいろな経験を積み、それが卒論(ゼミ論)に生かされていることを知りました。こうした経験を糧に、未だ発展途上の日本の VC に貢献する良い仕事を期待しています。

南井君は、通常ゼミやインゼミで、人並み以上の活

躍をしたにもかかわらず、未だ進路が見えていないようです。そろそろ自分を見極める時期が近づいていると思います。

理学部から参加してくれた荒戸君は、ロー君と同じく、このゼミに対して新鮮な刺激を与えてくれました。君の明晰な頭脳は、有能な若手研究者になる素質が十分なので、大学院でこの資質を開花させて下さい。

卒業生のみなさんへ

卒業生のみなさんにも、結婚・出産・異動等の連絡をいただいています。去年は、3 期生の下村君の結婚式に招待されました。今は奥さんと一緒にシンガポールにいるはずですが、同じく 3 期生の濱君も、結婚したことを年賀状で知りました。同じく 3 期生の伊藤(旧姓・柴田)淳子さんは、もう 2 児の母親だそうです。以前結婚式に招待された 2 期生の谷口君からは、赤ちゃんの写りが写っている年賀状をもらいました。6 期生の丸山君が、結婚して子どもまでできていることも、年賀状で知りました。転職が多いのには、驚きました。これは、このゼミの傾向なのか、現代の一般的傾向なのか、橋本先生にでも尋ねてみます。

そこで、お願いがあります。この機関誌は、**岩本ゼミ卒業生の同窓誌の役割も兼ねていますので、皆さんの連絡先等に異動があれば、必ず御一報下さい。それは、必ず毎年の機関誌の名簿に反映させます。**名簿の更新は、今すぐに役立つものではなくても、将来必ずみなさんにも役立つものになるはずですから。連絡は、私宛てのメールで構いません。

私の近況報告

私も、今年の 2 月に長男が生まれました。40 歳も半ばを過ぎて初めて一子を設けるなど、人よりも 10

数年、岩本ゼミ卒業生に比べれば、20年近くも遅れて、人生の転機を迎えることになりました。まだ1ヶ月ほどしか経っていませんが、出産も含めて、今のところは順調すぎるくらいの経過を辿っています。卒業生の中で、子どもが同級生になるケースもありそうですが、よろしくご指導下さい。

毎年の機関誌では、まず自分の近況報告から始めるのが常だったように思いますが、今年は、仕事関係で報告すべき近況報告が書けないことを恥じています。妻の妊娠・出産や、京大で数10年ぶりに開催された「日本国際経済学会・第62回全国大会」でプログラム委員長をつとめ、昨年は、こういうことで奔走させられた、という言い訳は通じませんね。唯一活字になったものと言え、すでに昨年度の機関誌で予告していた岩本武和・阿部顕三編著『岩波小辞典 国際経済・金融』(2003年)が、予定よりかなり遅れて出版されたことだけです。執筆者は、学会で私と同世代の若手から中堅の研究者10名強を選んだため、一般向けとしては難しすぎ、実践向けとしては机上の学問に過ぎるかもしれませんので、忌憚のないご批判をいただければ幸いです。

今は、3月末締切りの原稿2本に追われています。本来なら、そのうち1本は、この機関誌に草稿としてでも掲載したいところですが、育児に追われ(実は私はまだ関係なく妻の仕事!）、まだまだ未完成です。Asian Bond Marketで1本報告書みたいなものを書かなければならないのですが、これって見込みがあるのですかねえ。ヒントがあればご教示下さい。

連絡事項

4月からは、京都大学も国立大学法人となり、大学の組織形態は大きく変わります。法経本館の改修も終

わり、時計台は百周年記念館に生まれ変わり、キャンパス内には、カフェバーやフランス料理店までできました。組織や外観が変わっても、変わらないのは、私も含め、教官(国家公務員)から教員へと呼称だけを衣替えする人たちの中身でしょうか?

最後に、私が気付いた連絡事項を3つ列挙します。

(1)5期生の藤嶋君が置き土産として作ってくれ、その後TAの柴田君が管理してくれていた岩本ゼミHPが、今年大学院へ進学する荒戸君によって、きれいに一新されました。現在は、仮に

<http://popup11.tok2.com/home2/sheep0713/iwamoto/>

を借りていますが、4月からは、正式に京大経済学部サーバーに移行しようと思っていますので、必要に応じてご活用下さい。

(2)先にも書きましたが、**皆さんの連絡先等に異動があれば、必ず連絡を下さい。**私宛てでもかまいませんし、上記HPを利用して管理者宛てでも構いません。

(3)今年は、2年に1度の「青竹会」の開催年ですね。カレンダーを見ると、9月18日(土)から26日(日)の間が、連休等が挟まって都合が良いかもしれません。みなさんのアイデアやご希望があれば、上記HP等を利用してお聞かせください。京都でなくても、東京でもよいかもしれません。その場合は、出欠等の事務連絡はこちらでやりますが、会場の手配等は、東京幹事をお願いします。

以上、9期生の卒業生を含め、みなさんのご活躍をお祈りすると同時に、お会いできる日を楽しみにしています。

2004年3月10日

岩本 武和